

令和4（2022）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

ブロック：日本海ブロック

シイラ

海域	日本海	参加機関	水産研究・教育機構 水産資源研究所 浮魚資源部、青森県産業技術センター水産総合研究所、秋田県水産振興センター、山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、富山県農林水産総合技術センター水産研究所、石川県水産総合センター、福井県水産試験場、京都府農林水産技術センター海洋センター、兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター、鳥取県水産試験場、島根県水産技術センター
----	-----	------	--

(1) 調査の概要

- ・水産資源研は生物情報の収集、各府県調べの漁獲情報の集約を実施
- ・各府県は漁獲統計の収集を実施

(2) データ収集状況

- 各機関により、令和2年度評価で用いた情報に加え、以下の通り情報収集を実施した
- ・青森県では主要21港（日本海側～陸奥湾）の2007年以降の年間漁獲量ならびに2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・秋田県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・山形県では2020～2021年の月別漁獲量を収集済み
 - ・新潟県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・富山県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・石川県では主要10港の2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・福井県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・京都府では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・兵庫県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・鳥取県では2011～2018年および2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み
 - ・島根県では2020～2021年の月別漁法別漁獲量を収集済み。2007～2018年の月別漁法別漁獲量は精査中
 - ・水産資源研では各府県調べの漁獲量を集約した

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和2年度評価報告書を参照
- (2) 年齢・成長：令和2年度評価報告書を参照
- (3) 成熟・産卵：令和2年度評価報告書を参照
- (4) 被捕食関係：令和2年度評価報告書を参照

(4) 備考

- ・他海域も含めると生態特性に関する基礎知見はあるものの、日本海における生態学および遺伝学的な資源構造は不明である
- ・日本海全域で漁獲されており、漁獲量集計はあるものの、他の魚類と一括で集計されている地域もあり、集計値の精査が引き続き必要である